

養成する人材像

人文社会科学研究科全体

グローバル化や少子高齢化、情報化といった急激な社会の変化の中、労働市場や産業・就業構造の流動化によって将来予測が困難な時代を生き抜くために、高度専門職業人又は研究者として、「人間性」や「社会システム」の視点から、人間と社会が抱える複雑かつ多様な課題を学問的に分析できる能力及び創造的かつ実践的な解決策を提案し得る能力を身に付け、持続可能な社会の実現に貢献することができる人材を養成する。

経済・経営学専攻修士課程

経済学又は経営学に関する広範な知識を身に付け、経済学又は経営学の視点から、経済社会や企業等様々な組織における諸現象・諸課題を分析し、創造的に解決する能力を持った人材を養成する。経済学・経営学の学問の発展と新しいパラダイムの構築に資することのできる研究者及び高度な専門学識を通じて学問研究と社会の結びつきに資する専門職業人を養成する。

学位授与の方針（DP）

- DP1【共通】：研究に従事する者として、法令を遵守し、高い倫理観を持って行動することができる
- DP2【共通】：高度な研究手法を身に付け、主体的に研究活動を行うことができる
- DP3【共通】：自らの研究成果を文章および口頭により、説得力ある言葉で他者に的確に説明することができる
- DP4【共通】：グローバルな視点や学際的な視点から現代社会に生起する諸課題を理解し分析することができる
- DP5【専攻共通】：経済学を専門とする者は経営学、経営学を専門とする者は経済学の基本的な知識を身に付けている
- DP6【専攻共通】：経済学及び経営学に関わる国際的諸問題に関心を持ち、自らの研究を問題解決に活かす姿勢や意欲を有している
- DP7【経済学領域】：経済学に関する高度かつ体系的な専門知識を有している
- DP8【経済学領域】：経済学的かつ論理的な思考能力及び分析能力を有している
- DP9【経済学領域】：現代の経済社会が直面する諸問題に学術的側面から多面的に取り組み、社会的な要請に応えるために自ら考え、説明することができる
- DP10【経済学領域】：社会に関する事象について経済学の視点から分析を行い、その内容をまとめ、信頼性及び説得力をもって説明することができる

教育課程編成・実施の方針（CP）要点<まとめ>

			学位授与の方針（DP）	
研究科共通科目	研究者基礎力養成科目群	研究を遂行する上で必要となる基礎力を身に付ける	DP1～DP3	
	現代的課題科目群	現代社会に生起する多様な諸課題に関する学際的知識を身に付ける	DP4	
	留学生支援科目群	外国人留学生は日本語による論文執筆能力を向上させる	DP3	
	教職支援科目群（自由科目）	中等・高等教育現場における諸課題について思考する能力を身に付ける	DP4	
専攻固有科目	総合科目	「経済・経営学研究基礎」 ・経済学及び経営学における実践的研究方法（論文執筆の基礎的な知識を含む）を身に付ける ・経済学及び経営学と実社会との関係性を理解する	DP1・DP2 DP5・DP6	
	経済学領域科目	経済理論、経済分析、経済政策、応用科目群	経済学的な課題を見出し、解決策を提案するための専門知識や経済学的思考能力・分析能力を身に付ける	DP7～DP10
		研究指導科目群	研究指導教員が、修士論文の作成に直結する指導を行い、学生は研究の成果物としての修士論文を完成する	DP1～DP4 DP6 DP7～DP10
		論文執筆指導科目群	研究指導教員以外の教員が副指導教員として、修士論文執筆のための補完指導を行い、学生は研究の成果物としての修士論文を完成する	DP1～DP4 DP6 DP7～DP10
	経営学領域科目	組織・マネジメント、経営戦略、マーケティング、会計・ファイナンス科目群	経済学と経営学は深く関連する学問であることから、目指す進路に応じて、経営学領域の科目履修を推奨する	DP4 DP5・DP6
修士論文、最終試験（口頭）		「中京大学大学院人文社会科学研究科修士学位申請及び審査に関する内規」に定める修士論文等の審査基準を満たしている	DP1～DP4 DP5・DP6 DP7～DP10	

入学者受入れの方針（AP）

- (知識・技能) AP1【共通】 論理的な文章を作成する能力を有している
- (思考力・判断力・表現力) AP2【共通】 一定の根拠に基づいて自らの判断で物事を考え、自らの意見を形成することができる
- AP3【共通】 自らの問題意識を研究計画書等に整理してわかりやすく他者に伝えることができる
- (意欲・態度) AP4【共通】 研究に真摯に取り組み、社会に貢献する志を有している
- AP5【共通】 研究課題について、主体的に研究を遂行する意欲を有している
- AP6【共通】 研究に携わる者として必要不可欠な倫理観を有している
- AP7【共通】 専門領域に限定せず、現代社会に生起する諸現象、諸課題に深い関心を有している
- (知識・技能) AP8【経済学領域】 一般学生は、経済学及びその関連領域における学士水準の基礎知識を身に付けている
- AP9【経済学領域】 外国人留学生は、日本語能力試験 N1 レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している
- AP10【経済学領域】 社会人学生及び外国人留学生は、グローバルな視点で経済について考察することのできる広い知見を有している
- (思考力・判断力・表現力) AP11【経済学領域】 専門教育を受けるに適した数学的思考力、経済に関する諸現象、諸問題に対して分析や洞察を行う能力を有している
- AP12【経済学領域】 一般学生は、現代の経済社会が直面する諸課題について問題意識を持ち、それを他者に説明する能力を有している
- AP13【経済学領域】 社会人学生及び外国人留学生は、これまでの学修歴や社会的経験を経済学と関連づけて思考し、経済学分野における新たな問題を発見する能力を有している
- (意欲・態度) AP14【経済学領域】 経済に関する諸問題を科学的な手法に基づいて分析することに関心を有している

養成する人材像

人文社会科学研究科全体

グローバル化や少子高齢化、情報化といった急激な社会の変化の中、労働市場や産業・就業構造の流動化によって将来予測が困難な時代を生き抜くために、高度専門職業人又は研究者として、「人間性」や「社会システム」の視点から、人間と社会が抱える複雑かつ多様な課題を学問的に分析できる能力及び創造的かつ実践的な解決策を提案し得る能力を身に付け、持続可能な社会の実現に貢献することができる人材を養成する。

経済・経営学専攻修士課程

経済学又は経営学に関する広範な知識を身に付け、経済学又は経営学の視点から、経済社会や企業等様々な組織における諸現象・諸課題を分析し、創造的に解決する能力を持った人材を養成する。経済学・経営学の学問の発展と新しいパラダイムの構築に資することのできる研究者及び高度な専門学識を通じて学問研究と社会の結びつきに資する専門職業人を養成する。

学位授与の方針（DP）

- DP1【共通】：研究に従事する者として、法令を遵守し、高い倫理観を持って行動することができる
- DP2【共通】：高度な研究手法を身に付け、主体的に研究活動を行うことができる
- DP3【共通】：自らの研究成果を文章および口頭により、説得力ある言葉で他者に的確に説明することができる
- DP4【共通】：グローバルな視点や学際的な視点から現代社会に生起する諸課題を理解し分析することができる
- DP5【専攻共通】：経済学を専門とする者は経営学、経営学を専門とする者は経済学の基本的な知識を身に付けている
- DP6【専攻共通】：経済学及び経営学に関わる国際的諸問題に関心を持ち、自らの研究を問題解決に活かす姿勢や意欲を有している
- DP7【経営学領域】：経営学に関する高度かつ体系的な専門知識を有している
- DP8【経営学領域】：現代経済・経営を歴史的な視点及び幅広い視野で分析・調査することができる
- DP9【経営学領域】：理論に基づいた経営学的思考能力を有している
- DP10【経営学領域】：経営事象に関する研究を通じて、現代企業及び様々な組織の有する問題を発見し、理論的かつ実践的な解決策を提案することができる

教育課程編成・実施の方針（CP）要点＜まとめ＞

			学位授与の方針（DP）	
研究科共通 科目	研究者基礎力養成科目群	研究を遂行する上で必要となる基礎力を身に付ける	DP1～DP3	
	現代的課題科目群	現代社会に生起する多様な諸課題に関する学際的知識を身に付ける	DP4	
	留学生支援科目群	外国人留学生は日本語による論文執筆能力を向上させる	DP3	
	教職支援科目群（自由科目）	中等・高等教育現場における諸課題について思考する能力を身に付ける	DP4	
専攻 固有科目	総合科目	「経済・経営学研究基礎」 ・経済学及び経営学における実践的研究方法（論文執筆の基礎的な知識を含む）を身に付ける ・経済学及び経営学と実社会との関係性を理解する	DP1・DP2 DP5・DP6	
	経営学 領域科目	組織・マネジメント、経営戦略、マーケティング、会計・ファイナンス科目群	経営学的な課題を見出し、解決策を提案するための専門知識や経済学的思考能力・分析能力を身に付ける	DP7～DP10
		研究指導科目群	研究指導教員が、修士論文の作成に直結する指導を行い、学生は研究の成果物としての修士論文を完成する	DP1～DP4 DP6 DP7～DP10
		論文執筆指導科目群	研究指導教員以外の教員が副指導教員として、修士論文執筆のための補完指導を行い、学生は研究の成果物としての修士論文を完成する	DP1～DP4 DP6 DP7～DP10
	経済学 領域科目	経済理論、経済分析、経済政策、応用科目群	経済学と経営学は深く関連する学問であることから、目指す進路に応じて、経営学領域の科目履修を推奨する	DP4 DP5・DP6
修士論文、最終試験（口頭）			「中京大学大学院人文社会科学研究科修士学位申請及び審査に関する内規」に定める修士論文等の審査基準を満たしている。 DP1～DP4 DP5・DP6 DP7～DP10	

入学者受入れの方針（AP）

- (知識・技能) AP1【共通】論理的な文章を作成する能力を有している
- (思考力・判断力・表現力) AP2【共通】一定の根拠に基づいて自らの判断で物事を考え、自らの意見を形成することができる
- AP3【共通】自らの問題意識を研究計画書等に整理してわかりやすく他者に伝えることができる
- (意欲・態度) AP4【共通】研究に真摯に取り組み、社会に貢献する志を有している
- AP5【共通】研究課題について、主体的に研究を遂行する意欲を有している
- AP6【共通】研究に携わる者として必要不可欠な倫理観を有している
- AP7【共通】専門領域に限定せず、現代社会に生起する諸現象、諸課題に深い関心を有している
- (知識・技能) AP8【経営学領域】一般学生は、経営学及びその関連領域における学士水準の基礎知識を身に付けている
- AP9【経営学領域】外国人留学生は、日本語能力試験N1レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している
- AP10【経営学領域】社会人学生及び外国人留学生は、グローバルな視点で経営について考察することのできる広い知見を有している
- AP11【経営学領域】税理士志望の学生は、学士水準の会計学に関する知識を身に付けている
- (思考力・判断力・表現力) AP12【経営学領域】専門教育を受けるに適した問題処理能力、経営に関する諸現象、諸問題に対して分析や洞察を行う能力を有している
- AP13【経営学領域】一般学生は、会社組織を始めとする各種組織体の経営や、それを取り巻く外部環境に関する諸課題について問題意識を持ち、それを他者に説明する能力を有している
- AP14【経営学領域】社会人学生及び外国人留学生は、これまでの学修歴や社会的経験を経営学と関連づけて思考し、経営学分野における新たな問題を発見する能力を有している
- (意欲・態度) AP15【経営学領域】経営に関する諸問題を科学的な手法に基づいて分析することに関心を有している